

質問 町および教育委員会では、少子高齢化社会に起因する教育環境や社会状況の変化に伴う影響について何を課題として捉え、施策を講じようとしているのか。そこで、次の5点

を町長、教育長に伺う。

町長 情報収集し、表彰などの手段により広く町民の皆様に知らせていく。

教育長 現段階ではそれほど大きな影響はないと考えている。

問② 施設の統廃合や整備については、郷土文化伝承の方々の協力を得ながら進めていきたい。意識の醸成については、学校を通じて児童生徒への周知に努める。

教育長 継承については、郷土文化伝承の方々の協力を得ながら進めていきたい。意識の醸成については、学校を通じて児童生徒への周知に努める。

問③ 所得格差による教育格差は正への対応は。

教育長 保護者負担軽減制度や就学援助制度を運用している。さらなる拡大は考えていない。

問④ 優秀な人材や団体の発掘と育成への対応は。

森 巨 議員（自民新国会）

少子高齢化社会に起因する教育問題への認識と対応は

教育長 現段階ではそれほど大きな影響はないと考えている



石畑文化伝承会館竣工記念式典の様子

こんな質問もありました

町独自の学力向上施策の予算総額は

教育長 学習サポートやフューチャースクールの実施など、約4、300万円。

近藤 浩 議員（改革みずほの会）

高齢者施策の推進について問う

町長 28年度2カ所目の地域包括支援センターを設置する

質問 まず高年齢化する現代社会。一人暮らしの方はもちろん、そでない方も不安でいっぱいだと思う。また、各種保険料の負担・消費税増など、その生活も厳しくなっている。

町長 ター養成講座を受講し理解を深める取り組みを行った。今後、個人や各種団体への働きかけと同時に、ボランティア活動を定着させるための工夫が必要であると考えている。

問② 生活支援や雇用対策について。

町長 生活支援としては28年度、2カ所目となる地域包括支援センターを設置し、相談体制の強化を図る。雇用対策としては、ハローワークやシルバー人材センタールと連携し、就労促進を図る。

町長 孤独死対策については、民生委員に直接訪問をお願いしている。認知症対策については、その一環として、27年度、役場職員のほぼ全員が認知症サポート。

問① 孤独死対策や認知症等の見守りについて。



全職員を対象に行われた認知症サポーター養成講座（町民会館）

こんな質問もありました

航空機による低周波音の影響と対策は

町長 国に対し実態把握の調査を求めている。



古宮 郁夫 議員（自民新国会）

パブリックコメント（意見公募）とパブリックインボルブメント（住民参画）について

町長 時代とともに改善されなければならない

質問 行政運営における公正の確保、透明性の向上を図り、もって国民の権利利益の保護に資することを目的に制定された行政手続法は、平成17年に改正され意見公募手続等が定められた。これを参考に町でも各種計画等にパブリックコメント制度を行っている。しかし、本年3月には総務省行政管理局長名にて意見公募手続等の改善通知を出すなど課題もある。これを踏まえ町の現状と今後、また、密接な関係である協働・住民参画について問う。

することを基本としている。計画の規模、範囲にあわせて意見募集や町民参画のあり方など、最適と判断される手法を取り入れている。また、各種会議の公開性の確保および会議録の公開を同時に進めている。意見募集や町民参画の手法は、時代とともに改善されなければならない。

今後町民と協働しての施設整備やまちづくりを進めていく。

町長 新たな計画の策定や見直しの際には、その案を公開し、多くの方の意見を聞くパブリックコメントを実施



広報に掲載されたパブリックコメントの募集記事

「みずほ まちなか会議」を開催しました

議員との対話集会

町議会では、「みずほまちなか会議」を11月18日（水）、19日（木）に町民会館で行い、2日間で述べ17人の住民の方々にご参加いただきました。今回は、委員会ごと（総務産業建設委員会・厚生文教委員会）にテーマを決め1日ずつ行うといった新しい試みでしたが、参加者からは多くの発言があり、活発な意見交換ができました。次回も多くのご参加をお待ちしています。



みずほ議会だより205号（11月10日発行）の次の内容に誤りがありました。訂正してお詫びします。

■P7 決算質疑ピックアップ「健康」写真キャプション
【誤】 肝がん・胃がん検診の様子（保健センター）
【正】 肺がん・胃がん検診の様子（保健センター）